

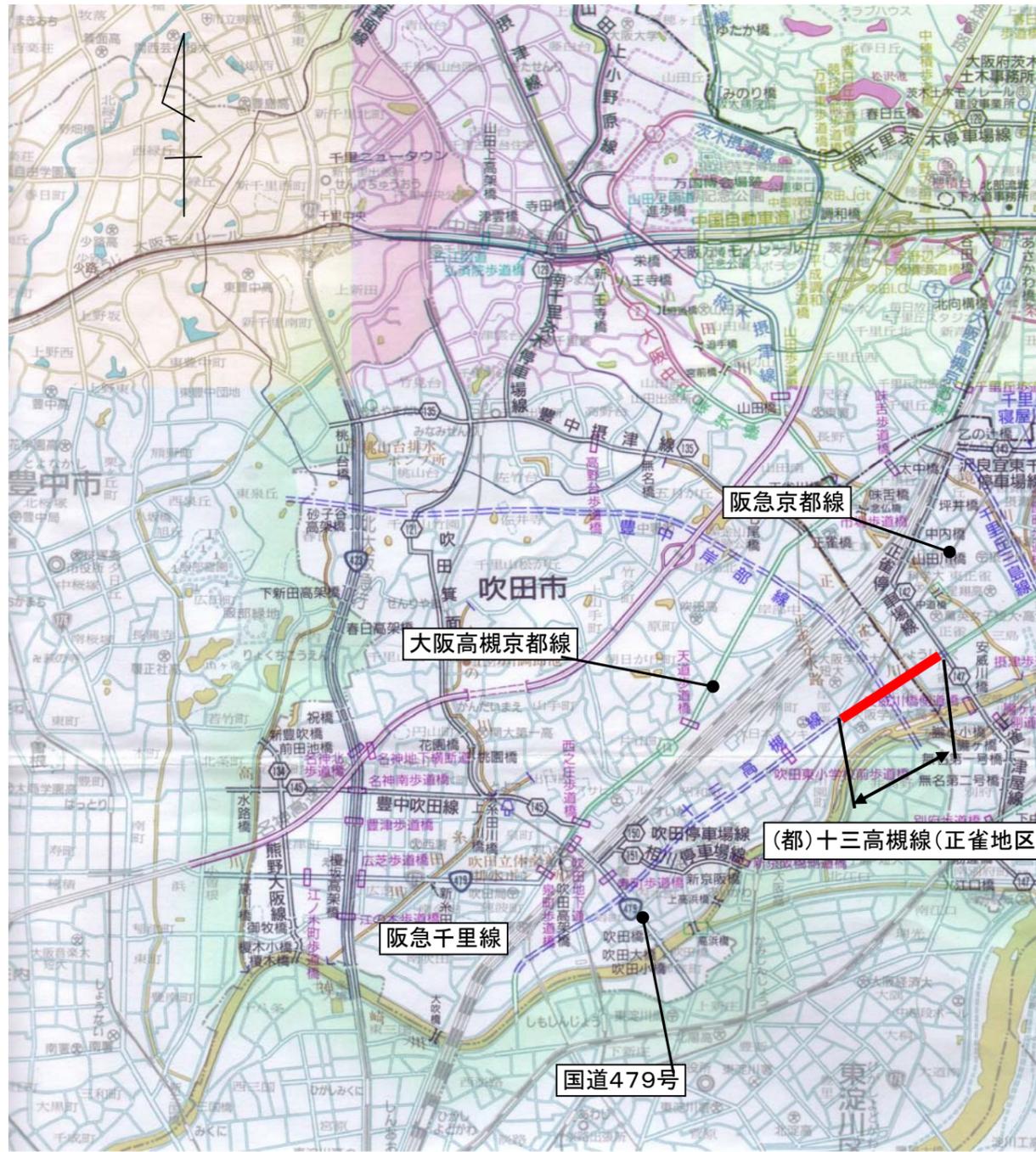
再評価調査書

事業名	街路事業（都市計画道路 十三高槻線（正雀地区））			
担当部署	都市整備部 交通道路室 街路課街路グループ（連絡先 06-6944-4424）			
事業箇所	摂津市正雀本町1丁目 吹田市南正雀1丁目、岸部南3丁目			
再評価理由	事業採択後10年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	大阪と京都を結ぶ主要道路である主要地方道大阪高槻京都線の慢性的な交通渋滞の緩和を図るものとして道路新設をするものである。		
	内容	延長 1.3km（府道 正雀一津屋線～穴田川水路） 幅員 20～45m 本線2車線+側道 道路区分 第4種1級		
	事業費	全体事業費：約256億円（約148億円） うち投資済事業費：約67億円 （内訳）調査費約13億円（約5億円） （内訳）調査費約4億円 用地費約87億円（約103億円） 用地費約58億円 工事費約156億円（約40億円） 工事費約5億円 （ ）内の数値は計画時点のもの		
		【計画時点の事業費との変動理由】 ・土地価格の下落による用地費減 ・鉄道事業者や河川管理者との協議より、立体交差部（鉄道、河川）の構造・仮設工法の見直しによる工事費増 ・土質調査の結果による軟弱地盤対策費の増、電線共同溝の追加による工事費増		
	維持管理費	約5.3百万円/年（約4百万円/km・年）		
	上位計画	・大阪府交通道路マスタープラン（平成16年度3月策定） ・大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版（平成17年3月策定） 財政再建プログラム案に基づき、見直しを行っていく。		
関連事業				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析 【完成予定の変更理由】
		事業採択年度：H11年度 事業着手年度：H11年度 完成予定年度：H17年度	事業採択年度：H11年度 事業着手年度：H11年度 完成予定年度：H28年度	用地買収の難航 軌道部工事の時間的制約
	進捗状況		（平成19年度末） 用地：68% 工事：2%	
	途中段階の整備効果発現状況			
	事業進捗に関する課題			

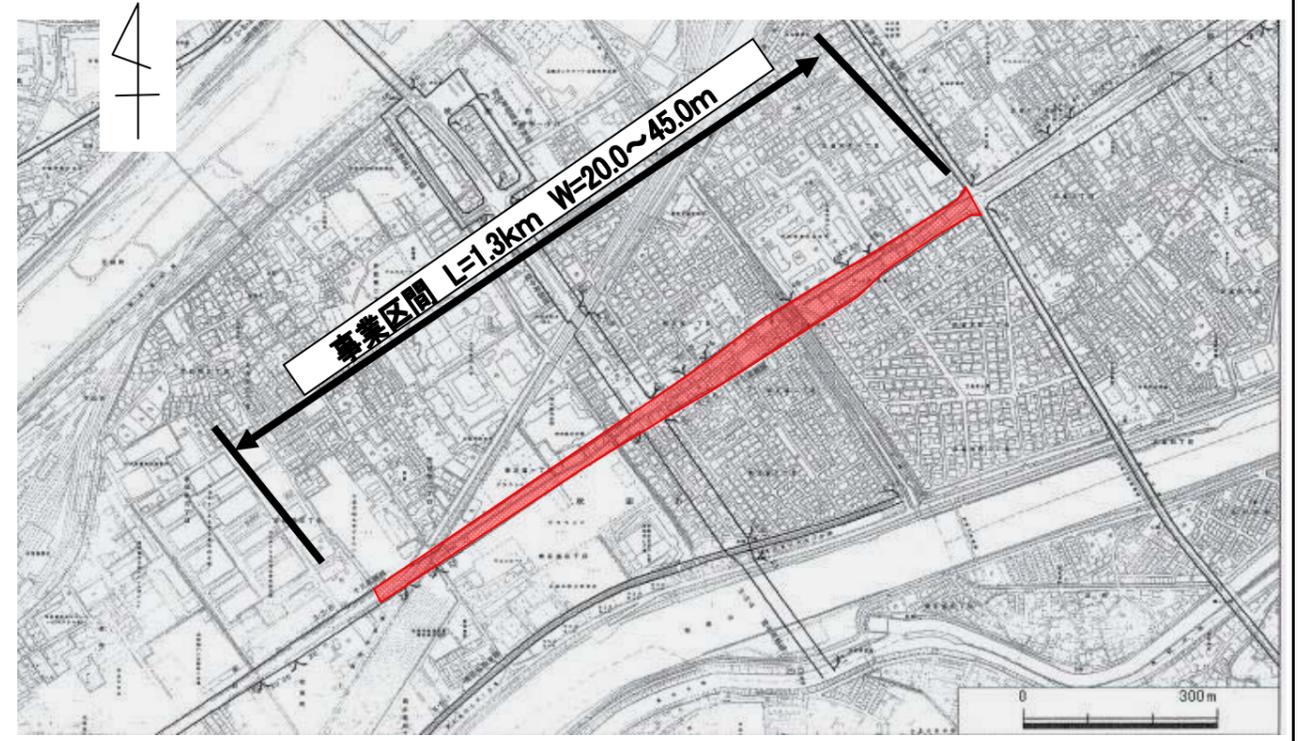
事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		<p>本路線は、大阪都心部と京都を結ぶ主要な幹線道路であり、主要地方道大阪高槻京都線のバイパス道路として整備するものであり。北大阪地域の幹線道路である大阪高槻京都線の慢性的な交通渋滞の緩和を図るものとして本事業の整備に着手した。</p> <p>（周辺道路の状況） 大阪高槻京都線 交通量 12,732台 混雑度 1.28 （平成11年センサス）</p>	<p>計画時と同様に、主要地方道大阪高槻京都線は依然として慢性的渋滞が発生しているため、渋滞緩和を図るため、整備を行う必要がある。また、本路線は本事業区間の事業採択（H11.9）後、中央環状線から府道正雀一津屋線までの区間1.3kmを供用し、H11年度末には本区間より、佐井寺片山高浜線までの区間1.3kmを供用したところである。現在事業中である他の区間（0.7km）と合わせ当該区間の完成によって、国道170号から大阪市境界の全線が開通することになり、北大阪地域の新たな交通ネットワーク形成が図られるため整備を行う必要がある。</p> <p>（周辺道路の状況） 大阪高槻京都線 交通量 12,967台 混雑度 1.53 （平成17年センサス）</p>	<p>依然として交通混雑していることから、早期整備が望まれている。</p>
	地元等の協力体制	<p>北大阪地域における京阪間の交通混雑緩和のため、早期整備が望まれている。</p>	<p>依然として交通混雑していることや、河川、鉄道による地域分断の解消のため早期整備が望まれている。</p>	<p>平成28年度の完成に向け、引き続き地元の協力を得て、事業推進に努める。</p>

		計画時の想定	備 考	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出することができなかったものの、本事業整備による事業効果が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 走行時間の効果（走行時間の短縮） 走行経費の効果（時間短縮による走行経費の節減） 受益者 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 2.88$ 総便益 B = 715.3億円 総費用 C = 247.9億円 算出根拠 費用便益分析マニュアル（国土交通省平成15年8月） 	本事業整備による事業効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保 緊急車両の走行 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 物流の効率化の支援 鉄道・河川に分断されていた地域の活性化 地域間交流連携の効果 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> 十分な歩道及び車道の確保により快適性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策		<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備により旅行速度が向上し、CO2の排出量が削減される。 植樹帯の設置により、緑の回復に努める。 		変更点特になし	
その他特記すべき事項					

事業箇所図



平面図



断面図

